

令和3年度(2021年度)義務教育課取組の方向

熊本県教育庁市町村教育局義務教育課

第3期くまもと「夢への架け橋」教育プラン及び「熊本の学び」の理念に基づき、校長がリーダーシップを発揮し、教職員の基本的資質と専門性を高め、子供たちが社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく力を育む指導体制の確立を図る。
また、学校として育成する資質・能力を明確にして、子供を中心に学校・家庭・地域・行政の五者で共有し、コミュニケーション等の連携・協働など社会に開かれた教育課程を通して、各学校が目指す教育を実現する。

※第3期くまもと「夢への架け橋」教育プランの基本理念：夢を実現し、未来を創る熊本の人づくり

※「熊本の学び」の理念：熊本のすべての子供たちが、「学ぶ意味」を問いながら、「能動的に学び続ける力」を身に付けることを目指します。

【重点努力事項(項目)】

「子供たちの『生きる力』を育む教育の充実」

～「認め、ほめ、励まし、伸ばす」教育行動指標を踏まえた教育の実現を目指して～

1 「熊本の学び」の推進

- (1) 学校教育目標の確実な実現に向けて、「熊本の学び」の四つの基本方針を踏まえた各学校の特色ある取組を推進する。
- (2) 子供たち誰一人取り残さない学びの保障と教員一人一人の授業力向上に向けて、「熊本の学び」の推進を支える「熊本の学び」アクションプロジェクトを展開する。

2 英語教育の充実

- (1) 英語が「好き」「分かる」児童生徒の育成に向けて、コミュニケーションの目的や場面、状況などを設定した言語活動の充実及び基礎的・基本的事項の確実な習得を図る授業改善を推進する。
- (2) 多様な文化をもつ人々と英語で考えや気持ちを伝え合う児童生徒の育成に向けて、ALT等とのコミュニケーション活動を通して異文化理解を深めるとともに、中学校卒業時におけるCEFR A1レベル(英検3級相当)の英語力を身に付けるための取組を推進する。

3 就学前教育と小学校教育との円滑な接続

- (1) 子供の生きる力の基礎を育むため、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」やスタートカリキュラム等を幼稚園等と小学校間で共有するなど、就学前の教育・保育と小学校以降の教育との円滑な接続を推進する。
- (2) 就学前の教育・保育の質の向上を図るため、幼児教育センターを活用し、アドバイザー派遣や関係機関との連携による多様な研修等の機会を提供し、教員・保育士等の専門性の向上に向けた取組を推進する。